



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 平賀  
コード番号 7863 URL <http://www.pp-hiraga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 治郎  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 中前 圭司

TEL 03-3991-4541

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,753	△9.8	36	△80.7	51	△74.6	22	△81.9
29年3月期第2四半期	4,162	△2.4	189	193.9	204	158.2	125	44.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	6.16	—
29年3月期第2四半期	34.06	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	5,015	2,387	47.6	648.19
29年3月期	5,082	2,380	46.8	646.40

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 2,387百万円 29年3月期 2,380百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年 3月期の業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,419	△9.2	96	△72.8	119	△69.0	60	△75.7	16.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	4,015,585 株	29年3月期	4,015,585 株
30年3月期2Q	332,198 株	29年3月期	332,198 株
30年3月期2Q	3,683,387 株	29年3月期2Q	3,683,387 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績に関する定性的情報	.....	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	.....	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	.....	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	.....	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	.....	P. 4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	.....	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	.....	P. 4
3. 四半期財務諸表	.....	P. 5
(1) 四半期貸借対照表	.....	P. 5
(2) 四半期損益計算書	.....	P. 7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	.....	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	.....	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	.....	P. 9
(6) セグメント情報	.....	P. 9
(7) 重要な後発事象	.....	P. 9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は世界経済のゆるやかな拡大及び政府による各種経済対策や日銀による金融政策を背景として生活必需品は低価格志向にあります。円安株高や設備投資の増加により個人消費は回復基調にあります。

一方商業印刷におきましては販促手法のSNSを活用した販促やCRMによる個別販促、また店舗の店内販促資材の強化により、チラシ等のマスメディアは縮小し環境は厳しいものとなっています。

このような状況の中、主力のチラシ事業において主要流通取引先の新規出店、改装計画の見直しやチラシ配布回数効率化、エリアの見直しにより売上高は計画を下回りました。経費面においては売上減少に対応したコスト管理の効果が当該期間では十分な効果が現れず売上原価率が当初の予想を上回りました。

以上の結果から、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は37億53百万円(前年同四半期比9.8%減)、営業利益は36百万円(前年同四半期比80.7%減)、経常利益は51百万円(前年同四半期比74.6%減)、四半期純利益は22百万円(前年同四半期比81.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、29億27百万円(前事業年度末は30億69百万円)となり、1億41百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ原材料及び貯蔵品が36百万円、仕掛品が18百万円増加したものの、現金及び預金が1億35百万円、未収入金が26百万円、受取手形及び売掛金が25百万円、電子記録債権が7百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、20億87百万円(前事業年度末は20億12百万円)となり、74百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ投資有価証券が58百万円、有形固定資産が16百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、17億70百万円(前事業年度末は18億42百万円)となり、72百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ電子記録債務が48百万円増加したものの、未払法人税等が74百万円、支払手形及び買掛金が45百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、8億57百万円(前事業年度末は8億58百万円)となり、1百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べその他固定負債が14百万円、退職給付引当金が4百万円増加したものの、社債が20百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、23億87百万円(前事業年度末は23億80百万円)となり、6百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ利益剰余金が32百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が39百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、13億98百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動におけるキャッシュ・フローは、21百万円の支出(前年同四半期は2億57百万円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益が50百万円、減価償却費が44百万円、売上債権の減少が27百万円、たな卸資産の増加が55百万円、法人税等の支払額が

85 百万円生じたことによるものであります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動におけるキャッシュ・フローは、39 百万円の支出（前年同四半期は 53 百万円の支出）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出が 39 百万円生じたことによるものであります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動におけるキャッシュ・フローは、74 百万円の支出（前年同四半期は 84 百万円の支出）となりました。これは配当金の支払額が 54 百万円、社債の償還による支出が 20 百万円生じたことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成 29 年 11 月 2 日公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,534,781	1,398,839
受取手形及び売掛金	1,052,986	1,027,782
電子記録債権	51,703	44,161
商品及び製品	58,889	58,843
仕掛品	73,326	92,197
原材料及び貯蔵品	74,210	110,782
未収入金	146,704	120,692
その他	78,300	75,990
貸倒引当金	△1,419	△1,419
流動資産合計	3,069,483	2,927,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	444,073	431,326
土地	907,360	907,360
その他(純額)	107,697	137,433
有形固定資産合計	1,459,130	1,476,120
無形固定資産		
その他	78,360	65,288
無形固定資産合計	78,360	65,288
投資その他の資産		
投資有価証券	436,170	494,773
破産更生債権等	291,461	289,451
その他	39,321	51,281
貸倒引当金	△291,521	△289,511
投資その他の資産合計	475,431	545,995
固定資産合計	2,012,922	2,087,404
資産合計	5,082,406	5,015,274
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,901	528,556
電子記録債務	488,021	536,591
短期借入金	330,000	330,000
未払法人税等	104,422	30,313
賞与引当金	111,000	114,000
その他	235,131	230,674
流動負債合計	1,842,477	1,770,135
固定負債		
社債	40,000	20,000
退職給付引当金	603,742	608,239
その他	215,251	229,341
固定負債合計	858,994	857,581
負債合計	2,701,471	2,627,716

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	434,319	434,319
資本剰余金	425,177	425,177
利益剰余金	2,091,524	2,058,965
自己株式	△259,806	△259,806
株主資本合計	2,691,215	2,658,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	228,412	267,594
土地再評価差額金	△538,693	△538,693
評価・換算差額等合計	△310,281	△271,098
純資産合計	2,380,934	2,387,557
負債純資産合計	5,082,406	5,015,274



(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,162,470	3,753,173
売上原価	3,245,631	3,016,466
売上総利益	916,838	736,706
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	257,478	247,935
賞与引当金繰入額	39,419	35,445
退職給付費用	7,619	6,958
その他	423,192	409,851
販売費及び一般管理費合計	727,709	700,191
営業利益	189,129	36,514
営業外収益		
受取利息	130	20
受取配当金	4,931	6,203
受取家賃	2,082	1,938
作業くず売却益	6,534	7,569
その他	4,465	3,264
営業外収益合計	18,144	18,996
営業外費用		
支払利息	2,880	2,139
原材料売却損	-	1,399
その他	10	12
営業外費用合計	2,891	3,551
経常利益	204,382	51,959
特別利益		
固定資産売却益	10	-
受取補填金	300	300
特別利益合計	310	300
特別損失		
固定資産売却損	-	6
固定資産除却損	23	0
和解金	3,000	-
会員権評価損	200	-
著作権関連損失	-	1,547
特別損失合計	3,223	1,554
税引前四半期純利益	201,469	50,704
法人税、住民税及び事業税	68,880	20,376
過年度法人税等	-	5,700
法人税等調整額	7,129	1,925
法人税等合計	76,009	28,002
四半期純利益	125,460	22,702

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	201,469	50,704
減価償却費	36,705	44,985
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△606	△2,010
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,669	3,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27,197	4,497
受取利息及び受取配当金	△5,062	△6,224
支払利息	2,880	2,139
固定資産除却損	23	0
和解金	3,000	-
固定資産売却損益(△は益)	△10	6
著作権関連損失	-	1,547
売上債権の増減額(△は増加)	173,952	27,312
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,210	△55,396
仕入債務の増減額(△は減少)	△96,862	3,038
その他	14,128	△14,315
小計	339,302	59,286
利息及び配当金の受取額	5,062	6,224
利息の支払額	△2,599	△1,873
和解金の支払額	△3,000	-
受取補填金	300	300
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△81,444	△85,762
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>257,620</b>	<b>△21,825</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△51,950	△39,362
有形及び無形固定資産の売却による収入	10	0
投資有価証券の取得による支出	△2,960	△3,062
貸付金の回収による収入	1,619	3,616
その他	△289	△322
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△53,570</b>	<b>△39,130</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	-
社債の償還による支出	△50,000	△20,000
配当金の支払額	△54,951	△54,987
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△84,951</b>	<b>△74,987</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	119,098	△135,942
現金及び現金同等物の期首残高	1,334,867	1,534,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,453,965	1,398,839

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

当社の報告セグメントは単一であり、報告セグメントの記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

以 上